

# 認定看護師のご紹介

認定看護師は、高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。

「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。

# がん性疼痛看護

身体的な苦痛だけでなく、トータルペインとしてとらえ、患者様やご家族の苦痛を緩和し、QOLを維持できるように対応しています。  
患者様やご家族の「つらさ」に対応できるよう、対話することを大切にしています。

## 家族支援

患者様だけでなく、ご家族もケアの対象です。ご家族にできるケアを提案しています。



## 緩和ケア通信

緩和ケアに関するトピックスや患者様やご家族を通して感じたことをお伝えしています。

(毎月1回発行)



## チーム医療

緩和ケアチームとして、多職種で連携して、患者様やご家族への支援を行います。早期から緩和ケアチームが介入できるように、外来看護師との情報共有も行っています。



# 感染管理

院内の全ての人を感染から守ることを使命とし、多職種と協働しながら組織横断的にチーム医療を担います。

研修会



ASTラウンド



実技訓練



当院は、急性期病棟と障がい者病棟があります。急性期病棟で重要なことは感染拡大を防ぐスピーディーな対応です。一方、障がい者病棟は入院が療養の場であり生活の場でもあるため、より個別性を重視した持続可能な感染対策が必要となります。それぞれのアプローチの仕方を試行錯誤しながら見出していくのは、当院ならではのやりがいであり、魅力です！

# 皮膚・排泄ケア



褥瘡や足の傷、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）、おむつ使用の方へのケアを専門とし、その人らしさを大切に支援しています。訪問看護師とも連携を行い、地域でもご本人とご家族が安心して暮らせるよう在宅療養を支えます。

## ストーマ外来



患者さんのお話をじっくりと伺いストーマのある暮らしについて共に考えます。やりがいのある活動の一つです。

## 院内研修講師



看護の質向上のために院内スタッフを対象に研修会を開催しています。

## 褥瘡チーム回診



多職種チーム回診やリンクスタッフと『スキンケアラウンド』を行い、看護師のOJTを実践しています。

## 創傷管理



創傷管理関連分野の特定行為研修を修了し、創傷治療の促進に取り組んでいます。

# 慢性心不全看護



## 看護外来やっています！

2022年10月より心不全看護外来を開設しています。病気と付き合いながらご自身の暮らしが続けられるよう、ご本人ご家族のお気持ちを伺いつつ、訪看さんや在宅支援者との連携も行っています。



## 心不全手帳

自己管理ツールとして入院中に病棟看護師より心不全手帳をお渡しすることがあります。通院時にお持ちいただく心不全手帳を通じて入院から外来へ看護師が継続的な支援を実施しています。



## チーム医療

心不全は医師による治療だけでなく多職種での患者支援が大切です。心不全療養指導士の資格を持つスタッフが多数活躍しており、学会等で勉強しながら切磋琢磨しています。



Since 2015

# 認知症看護

当院には認知症看護認定看護師（B課程修了）が2名在籍しています。多職種と情報共有しながら、相談に応じて病棟スタッフと協働し、入院・治療環境の調整や個別ケアを検討します。



ラウンド

入院による環境変化でせん妄や認知症症状が強い方に対し、カンファレンスやラウンドを実施します。また、認知症リンクスタッフ会では勉強会や事例検討を行い、知識向上と安心・安全な入院環境の提供を支援しています。



院外活動

認知症キャラバンメイトとしてサポーター養成講座やオレンジカフェに参加して地域との関わりも大切にしています。

認知症サポーター  
キャラバンマスコット  
ロバ隊長！



みかんカフェ

入院患者さんを対象に週に2回程度、季節を感じてもらえるようなレクリエーションを企画しています。天気の良い日は散歩をすることもあります。

# 摂食・嚥下障害看護

食べることは、生きる楽しみであり大切な営みです。食べることや飲み込むことに不安を抱える方が、安全に楽しく食事できるよう支援します。患者さんやご家族の思いに寄り添いながら、「もう一口食べたい」という気持ちを大切にされたケアを心がけています。

## 食事支援



## 研修・勉強会

安全な食事介助や誤嚥予防につながる研修・勉強会を実施し、医療・介護スタッフの知識と技術向上を支援しています。



## NST回診

多職種と連携して栄養状態や嚥下機能を総合的に評価し、最適な栄養管理と誤嚥予防に取り組んでいます。



嚥下機能評価に基づく安全な食事介助を実践し、誤嚥予防を図ります。スタッフ指導や相談支援を通じて、多職種と連携し、その人らしい経口摂取を支えます。

# クリティカルケア

生命危機にある重症・急性期患者様の状態と変化を丁寧に捉え、一人ひとりに合わせた看護を提供します。多職種と連携し、「今」だけでなく「未来（退院後）」を見据えた看護を実践します。



人工呼吸器や補助循環装置など高度医療を要する患者様に対し、全身状態を評価しながら特定行為を活用した看護ケアを行います。

その人らしさやQOLを維持するため、多職種と協働した離床支援や家族への心理的サポートを行います。

呼吸ケアチームラウンド



重症患者様の回復支援および家族支援

医師、診療看護師、認定看護師、理学/作業療法士の呼吸ケアチームでラウンドしています。呼吸器離脱や合併症予防に向けて支援しています。

# 手術看護

手術が決定したその瞬間から、手術を受け術後の回復に至るまでの「周術期看護」を担っています。患者様の選択を尊重し、安心して手術を受けることができるよう、多職種チームで協働し医療を提供しています。

## 多職種カンファレンス



高難度手術や高侵襲手術に対し、多職種で術前カンファレンスを行い、チーム全体で情報共有し手術に臨みます。

## チーム医療



TAVI(経カテーテル大動脈弁植え込み術) やロボット支援下手術などの最先端手術も行っています。

## 術後疼痛管理 (APS)チーム



術後1日目からAPSラウンドを行い、患者様に応じた鎮痛方法を提案しています。